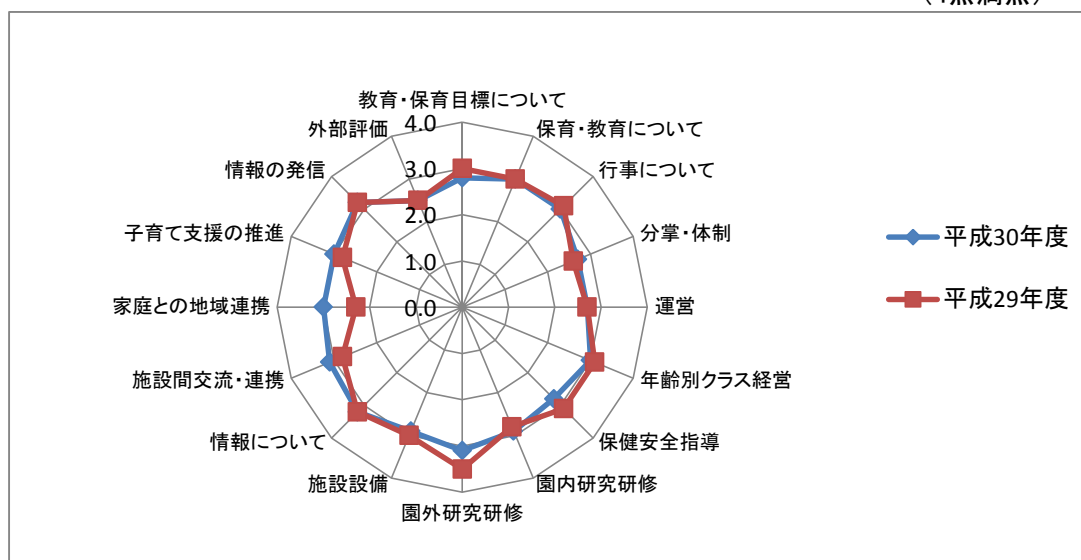


平成30年度認定こども園 みどり幼稚園 自己点検・自己評価

項目	平成30年度	平成29年度	項目	平成30年度	平成29年度
教育・保育目標について	2.8	3.0	園外研究研修	3.1	3.5
保育・教育について	3.0	3.0	施設設備	2.9	3.0
行事について	3.0	3.1	情報について	3.2	3.2
分掌・体制	2.7	2.6	施設間交流・連携	3.1	2.8
運営	2.7	2.7	家庭との地域連携	3.0	2.3
年齢別クラス経営	3.0	3.1	子育て支援の推進	3.0	2.8
保健安全指導	2.8	3.1	情報の発信	3.2	3.2
園内研究研修	2.9	2.8	外部評価	2.5	2.5

(4点満点)



総合評価

認定こども園として2年目を迎えた。教育要領・保育指針も改訂され、幼児の主体性を重んじる保育活動や関わり方の重要性が問われている。みどり幼稚園でも乳児保育のあり方を含め、保育教諭全員が理解を深めてきた。教育目標、教育方針を踏まえて年間計画を立て、園児達が様々な経験、体験を積み、集団生活の中で社会性を身に付けていくことが出来るように、保育者同士が共通理解を持ち、環境設定に配慮して年齢に沿った保育活動を行った。家庭との連携や情報交換にも力を入れ、保護者様に行事や保育活動を理解していただいた。異年齢交流や幼保小教育交流も定期的に行い、良い成果に繋がっている。預かり保育の定期利用、一時利用者も増加した。2号認定の長時間保育園児と預かり保育園児の担当保育者の確保が難しく、苦慮してきたが安全面を考慮し、事故や怪我のないように見守った。また未就園児クラス(トリスクール)の保育も順調で、子育て支援の役目も果たしてきた。保育部門では常勤保育士が確保できず、主任が保育に入ることが多くなり、園運営がスムーズにいかないことも生じてしまった。保育者確保が今後の課題の一つである。保育者も園内外の状況を把握し、様々な研修に参加し、自己研鑽していきたい。